

秋の新着図書

秋風羽織の教え 人生は半分、青い。／秋風羽織・北川悦吏子

「半分、青い。」でヒロイン・楡野鈴愛の漫画の師匠として登場し、数々の名言を残した秋風羽織本人を独占・密着取材!!
10毛にカグマで着物もたしなむミステリアスな人気少女漫画家が、あの名言に隠された「真実」を語る! 心にしみるメッセージも多数収録。あのオアシティカールの日常が一気に蘇る!

雨降る森の犬／馳 星周

父親を病で失い、母親との確執を抱えた中学生の雨音は不登校になり、山岳写真家の伯父のもとに身を寄せた。叔父はバニーズ・マウンテン・クラブのクルトとともに自前の山荘に住んでいた。山荘の近くには大きな別荘があり、雨音はそこをもち主の長男で高校生の正樹と知り合う。家族の問題を抱えた二人が伯父とクルトと過ごすなかで自らの生きる方向性を見出していく、心に響く長編小説。

一発屋芸人列伝／山田ルイ 53 世

第 24 回雑誌ジャーナリズム賞作品賞受賞!! 芸人初の快挙!
一発屋たちの「自虐エピソード集」や「瞬間最大風速エピソード集」ではない。徹底しているのは、彼らの面白さを解き明かす姿勢と、いままさに生きる姿を伝えること。それでも、人生は続く。不器用で不屈の人間たちに捧げる、涙と笑いのノンフィクション。

雲上雲下／朝井 まかて

平成 30 年(第 13 回)中央公論文芸賞受賞作!
物語ノ終ワルトハジマリ…
子狐に山姥、乙姫に天人、そして龍の子。
民話の主人公たちが笑い、苦悩し、闘う。
不思議で懐かしい、大人のためのファンタジー。

送り火／高橋 弘希

第 159 回芥川賞受賞作
少年たちは暴力の果てに何を見たのか?
東京から山間の町へ引っ越した中学三年生の歩。
級友とも、うまくやってきたはずだった。あの夏、河へ火を流す日までは――。

君の話／三秋 縊

二十歳の夏、僕は一度も出会ったことのない女の子と再会した。架空の青春時代、架空の夏、架空の幼馴染。夏皿灯花は記憶改変技術によって僕の脳に植えつけられた“偽憶”の中だけの存在であり、実在しない人物のはずだった。「君は、色んなことを忘れてるんだよ」と彼女は寂しげに笑う。「でもね、それは多分、忘れる必要があったからなの」これは恋の話だ。その恋は、出会う前から続いていて、始まる前に終わっていた。

ぐるぐる♡博物館／三浦 しをん

人類史の最先端から秘宝館まで、個性あふれる博物館を探検!
好奇心とコトバ全開の愉快的な謎・エンタメ。
博物館が大好きな著者が、興味のおもむくまま、全国のおもしろそうな博物館を訪問。まじめに、ときに妄想を膨らませつつ、お宝や珍品に迫ります。
実業之日本社創業 120 周年記念作品。

事故物件怪談 怖い間取り／松原 タニシ

事故物件とは、前の住人が自殺・殺人・孤独死・事故などで死んでいる部屋や家のこと。そんな「事故物件」を転々としている、「事故物件住みます芸人」の松原タニシ、初の書き下ろし単行本。「ワケあり物件」の不思議な話を、すべて間取り付きで紹介しています。自分の部屋に入るのが恐くなる…。「普通の部屋が実はいちばん怖い」という実話を揃えた怪談集です。

じっと手を見る／窪 美澄

大切な人を、帰るべき場所を、私たちはいつも見失う――。忘れられない恋愛小説。
富士山を望む町で介護士として働く日奈と海斗。老人の世話をし、ジョブ・マガモルだけが息抜きの日奈の生活に、ある時、東京に住む宮澤が庭の草を刈りに、通ってくるようになる。生まれ育った町以外に思いを馳せるようになる日奈。一方、海斗は、日奈への思いを断ち切れぬまま、同僚と関係を深め、家族を支えるためにこの町に縛りつけられるが…。

人生は、運よりも実力よりも「勘違いさせる力」で決まっている／ひろむだ

発売 2 週間で 7 万部突破の大ヒット!!
実力を磨くよりも、はるかに人生を好転させる「錯覚資産」とは何か?
誰もが一度は思う「なんであんな奴が評価されるんだ!?!」の謎を解き、「誰にでも使える強い武器」として解説する異色作。本書を読み終えた後には、誰もがこのタイトルに納得しながらも、そうした世界でどう生きるべきかを考え込んでしまうはずだ。

世界一シンプルで科学的に証明された究極の食事／津川 友介

ハーバード大学を経て UCLA 助教授として活動する医師が、あなたに教える不動のルール!
今あなたが信じている健康情報は本当に正しい情報でしょうか。本書では、最新の膨大な研究論をもとに複数の質の高い研究で体に良いことが科学的に証明されている食事を紹介しています。まずは 2 週間ほど本書で説明している食事法を続けてみてください。自分の体が変わってきたことを実感できるようになるはずですよ。

天地に燦たり／川越 宗一

この熱量はすべての読者を圧倒する。衝撃の松本清張賞受賞作。
豊臣秀吉の朝鮮出兵により侵略の風が吹き荒れる東アジアを、三つの視点から克明に綴る。
“島津”戦を厭いながらも、戦のなかでしか生きられない侍大将。“朝鮮国”被差別民でありながら、儒学を修めたいと願う青年。“琉球国”国を愛し、「誠を尽くす」ことを信条に任務につく官人。京極夏彦、三浦しをんら選考委員も絶賛した傑作歴史エンタメ小説。

偽姉妹／山崎 ナオコウ

私、お姉さんたちとは別に、姉妹になりたい人ができたの――。
平凡なシングルマザー・正子が宝くじを当て、挑戦したのは、“姉妹”のメンバーチェンジ!?
身内じゃないって、心地いい――ありふれた幸せや家族像を打ち砕く、ポップで自由な家族小説。

パパは漫才師 (1)／シャンプーハットこいで

浪速の人気芸人がおくる「家族の物語」!
人気漫才師「シャンプーハット」のボケ・こいで氏が漫画家デビュー!
3 人の子供たちとの日々を描いた、ハートフルストーリー!
なんか笑えて、なんか泣ける! たくさんの「なんかいいなあ」が詰まった一作!

破滅の王／上田 早夕里

1943 年、上海。かつては自治を認められた租界に、各国の領事館や銀行、さらには娼館やカジノ屋が立ち並び、「魔都」と呼ばれるほど繁栄を誇ったこの地も、太平洋戦争を境に日本軍に占領され、かつての輝きを失っていた。上海自然科学研究所で細菌学部の研究員として働く宮本は、日本総領事館から呼びだされ、重要機密文書の精査を依頼される。太平洋戦争の中国を舞台に、治療法皆無の細菌兵器を巡る追跡劇!

火のないところに煙は／芦沢 央

おもしろすぎて恐すぎて即売!!
「神楽坂を舞台に怪談を書きませんか」突然の依頼に、作家の「私」は、かつての凄惨な体験を振り返る。解けない謎、救えなかった友人、そこから逃げ出した自分。「私」は、事件を小説として発表することで情報を集めようとするが――。予測不可能な展開とどんでん返しの波状攻撃にあなたも必ず騙される。一気読み不可避、寝不足必至! 戦慄の暗黒ミステリ!

ファーストラヴ／島本 理生

第 159 回直木賞受賞作
夏の日の夕方、多摩川沿いを血まみれで歩いていた女子大生・聖山環菜が逮捕された。彼女は父親の勤務先である美術学校に立ち寄り、あらかじめ購入していた包丁で父親を刺殺した。なぜ彼女は父親を殺さなければならなかったのか?
「家族」という名の迷宮を描く長編小説。

もう「はい」としか言えない／松尾 スズキ

浮気がばれて、パリへ逃げた。そこに悪夢が待っていた。もう笑うしかない…。
「世界を代表する 5 人の自由人のための賞…?」胡散臭いものだが、パリへの旅費と一週間の滞在費を支給してくれるらしい。飛行機が嫌いで、外国人が怖い海馬五郎も、一週間は妻との時間を休めるというので、その誘いにのった。これが悪夢の旅になったのである。
天才・松尾スズキのシュールでエンタメ精神にあふれる、まったく新しい小説世界へようこそ!

妖怪処刑人 小泉ハーン／久 正人

時は、1899 年<最後の彌兵>小泉八雲ハーンは妖怪を狩り殺す。
己の矜持のために。もう一つの日本を舞台とした伝奇アドベンチャー!

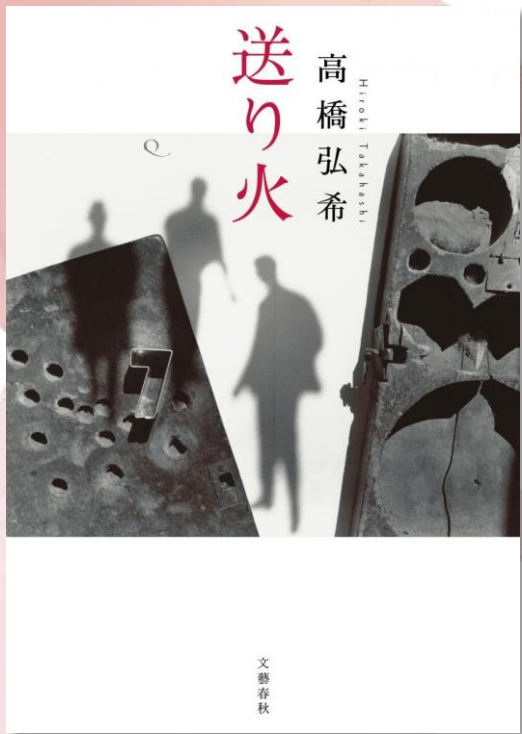
わけあって絶滅しました。世界一おもしろい絶滅したいきもの図鑑／丸山貴史 (著) 今泉忠明 (監修) サトウマサノリ (イラスト)

油断、やりすぎ、不器用、不運…。ああ、地球ってせちがらい! わけあって、絶滅してしまいました。発売後たちまち 13 万部突破のベストセラー! 受難のいきもの 70 種! 生き物が絶滅する確率は 99.9%。聞いてくれ、その理由を!

注目図書

送り火

高橋 弘希



ファーストラヴ

島本 理生



自然は沈黙し、少年たちは血の遊戯に熱狂する――。

第159回芥川賞受賞作

春休み、東京から山間の町に引っ越した中学3年生の少年・歩。クラス中心にいる晃は、花札を使って物事を決め、いつも負けてみんなの3-2を買ってくるのは稔の役割だ。転校を繰り返した歩は、この土地でも、場所に馴染み、学校に溶け込み、小さな集団に属することができた、と信じていた。夏休み、歩は家族でねぶた祭りを見に行った。晃からは、河へ火を流す地元の習わしにも誘われる。しかし、晃との約束の場所にいたのは、数人のワズメと、見知らぬ作業着の男だった。やがて始まる、上級生からの伝統といういじめの遊戯。豊かな自然の中で、すくすくと成長していくはずだった少年たちは、暴力の果てに何を見たのか――。

“絶対君主”だった父を殺した娘が抱えていた思いとは…

第159回直木賞受賞作

ある夏の日、血まみれの姿で歩いていた女子大生が殺人容疑で逮捕される。彼女の名前は聖山環菜、包丁で刺されて死亡した被害者は彼女の父親で画家の聖山那雄人。だが、奇妙なことに環菜自身が「動機が分からない」という。臨床心理士の真壁由紀はこの事件に関するカウンセリングの執筆を依頼され、被告の弁護人となった義弟の庵野迦葉とともに、環菜や周辺の人々への面談を重ねていく。幼い頃から自責の念が強かった様子 of 環菜、家庭では絶対君主であった父親、娘を案ずるところで裁判では検察側の証人に立つ母親。一体この家庭に何があって父親は起きたのか。最後の「3-2」に至るまで、謎と真相の提示のタイミングが絶妙な超一級品のエンターテインメント作品。

雲上雲下

朝井 まかて



天地に燦たり

川越 宗一



「鳥肌の立つ感動を覚えた」不思議で懐かしいニッポンの優しいファンタジー

舞台はどこかの深い山中。たっぶり葉の茂った「草どん」と呼ばれる草があり、子狐や山姥から求められて昔話を語りだす。団子地藏、粒や、亀の身上がり、猫寺……どれもがどこかで聴いたり読んだりした説話に似ているのだが、そんなことが気にならないほど草どんの語りはテンポよく、描写の力で湿気や匂いすら漂わせながら、読む者を子狐や山姥と同じく豊かな過去へと引きこんでいく。しかし、物語は歪みはじめ……。

「おらたちの話を、もう誰も聞きたがらない、忘れられてゆくばかりなんだ」人はなぜ損得にこだわって奪い、殺し、戦を止めないのか、たとえ答えは出ずとも問いつけてきた物語を無為と見なす社会が今、彼らを窮地へと追いこんでいるのだ。優しい物語が世界から消えないように。現代の人々に考えるきっかけをくれる素晴らしい一冊。

この熱量はすべての読者を圧倒する。衝撃の松本清張賞受賞作。

戦を厭いながらも、戦のなかでしか生きられない島津の侍大将。被差別民でありながら、儒学を修めたいと願う朝鮮国の青年。自国を愛し、「誠を尽くす」ことを信条に任務につく琉球の官人。豊臣秀吉の朝鮮出兵により侵略の風が吹き荒れる東アジアを、三つの視点から克明に綴る。なぜ人は争うことを辞められないのか。人と獣を分かちつものとは、一体なんなのか――。京極夏彦、三浦しをんら選考委員も絶賛した傑作歴史エンターテインメント。